

競技注意事項 (案) (ロードの部)

1. 規則について

- ・ 本大会は、2019 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項にて実施する。

2. 大会本部について

- ・ 本大会本部はヤンマーフィールド長居大会役員室に設置する。

3. ナンバーカードについて

- ・ ナンバーカードは学校受付時に配付された別ナンバーカード（1部校：白布、2部校：黄色布）及び腰ナンバーカードを、ユニフォームの胸、背部、左右の腰に明瞭につけること。また、**競技終了後は全てのナンバーカードをナンバーカード回収係に返却すること。**

4. 招集方法

8 : 0 0	学校受付開始 競技場開門
8 : 3 0	第1次招集・欠場者届受付開始 (ヤンマーフィールド長居屋内練習場競技者係) スペシャルドリンク、給水補助者受付開始 (競技者係隣のスペシャルドリンク受付係)
8 : 5 0	第1次招集完了、欠場者届・スペシャルドリンク受付締切
9 : 0 0	競技場内練習打ち切り
9 : 1 0	第2次招集開始 スタート地点
9 : 3 0	スタート
1 0 : 5 0	競技打ち切り ※「8. 競技打ち切りについて」参照
1 2 : 0 0	競技場閉門

- ・ 第1次招集は、ヤンマーフィールド長居屋内練習場の競技者係にて競技者本人が行う（代理人可）ものとする。その際ナンバーカードを胸、背部、左右の腰に付けたユニフォームの確認を受け、**コール用紙のレーンナンバーに丸付けを行うことで1次招集の完了とする。**

* 招集に遅れたものは無断欠場と見なし、所属大学の総合得点より1点を減点し、出場を認めない。

5. 欠場について

- ・ 事前欠場することが決まった者は、大会前日の4月17日（水）17：00までに関西学連事務所（06-6442-8771）まで事前欠場用紙に記入しFAXを送信すること。また、送ったことを電話で確認すること。また、関西ICエントリー会にても受け付ける。
- ・ 当日欠場をする場合、欠場者届を屋内練習場の競技者係にて配布するので、その用紙に必要事項を記入し大会本部の総務に提出して承認を得ること。その後、総務より欠場者届の下半分を受け取り、第1次招集完了の8：50までに競技者係に提出すること。

6. 給水について

- ・ 給水地点は相撲場前とする。
- ・ スペシャルドリンクを使用するものは8：30～8：50までにヤンマーフィールド長居屋内練習場の給水受付係まで提出すること。
また、スペシャルドリンクは1人3本までとする。
- ・ 給水の補助は、1大学3人まで受付を行い緑の腕章を受け取ることで、指定されたゾーン内での競技中の選手への手渡しを可能とする。雨天の場合も傘の使用は認めない。

※緑の腕章は左腕につけること。また、指定された区画内で受け渡しを行うこと。（別紙参照）

7. 伴走について

- ・伴走と認められた場合は失格とする。
伴走の定義については、以下に定めるものとする。
- ① 選手の横を走る。(自転車等を含む)
- ② 選手を応援し、選手通過後に選手の先回りをして再度応援する。
(コース横の歩道を移動し、選手を追い越して先回りする等)

8. 競技打ち切りについて

- ・競技は10:50(開始後1時間20分00秒)の時点であると1周以上残っている場合は、マラソングート手前の周回表示板前で打ち切りを行う。

9. 応援について

- ・横断幕及びのぼりの設置はバックスタンドのみ認める。テープ等は使用せず、紐等で固定すること。また、競技終了後にはすみやかに外すこと。
- ・各関門付近で審判より応援規制の指示があればすみやかに従うこと。
- ・周回走路で横断幕の設置及びのぼりを手に持ち応援してはいけない。また、長居公園内にテントを設置することを禁止する。万が一、テントの設置が発覚した場合には、当該大学のロードの部にエントリーした全選手を失格とする場合がある。

10. 競技場入場時の靴について

- ・学生補助員、学生審判は荷物搬入時のみ競技場の出入りを認めるが、全天候走路の保護のため、トレーニングシューズまたはスニーカーを履いて入場すること。それ以外を使用している者について、発見次第、競技場入場を禁止する。

11. 練習について

- ・マラソングートは8:00開門とし、9:00までトラック内でのウォーミングアップを認める。選手以外は立入り禁止とする。

12. その他

- ・出場校は本大会学生審判及び学生補助員派遣の申し合わせに基づき、定められた数の学生審判・学生補助員を派遣しなければならない。学生審判の服装は正装とし、審判カードを所持、配付する腕章を付けること。学生補助員はクラブ指定のジャージの着用を認める。派遣しなかった場合、または、その業務を果たさなかった場合は、その学校の全選手に対して本大会の出場停止処分の措置をとる場合がある。
- ・注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学生が所属する大学を失格とし、処罰を与える。
- ・荷物の管理は各自で行うこと。紛失、盗難に関して主催者側は責任を負わない。
- ・ゴミ箱は使用禁止とし、各大学が責任をもって処分すること。
- ・地震等で本大会コースが走れない場合は大会を中止する場合がある。
- ・競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。ただし、2019年度(公社)日本学生陸上競技連合普通会員は原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険は適用される場合がある。
- ・記録はメインスタンド下中央エントランスにて掲示する。
- ・その他、不明な点は大会本部まで申し出ること。